

**2015年度
名古屋市予算案**

**安倍暴走政治に追隨する河村市政
リニア頼みで名駅などの開発に夢中**

介護保険で42億円など負担増

2月9日、名古屋市の2014年度予算案が公表されました。社会保障改悪や大企業減税などの安倍暴走政治に追隨、市民負担増と大型事業を推進する自民党型市政になっています。

介護保険の改悪で保険料の値上げは42億円。保険料段階を12段階から15段階へと累進性は強化されますが、低所得者の保険料軽減は当初案より縮小しました。一定所得以上の利用者負担も1割から2割など利用料負担増も。介護報酬は△2.27%改定されるなど、特養ホームとデイサービスが狙い撃ちにあっています。

民営化を推し進め、福祉を切り捨て

「リニア開業を見据えたまちづくりの推進(1億1500万円)」「名古屋駅周辺地下公共空間整備(6200万円(総額134億円))、名古屋まちづくり公社に用地取得事務を約23億円で委託し市職員を派遣するなどリニア関連開発に夢中です。

「公立保育所の社会福祉法人への移管準備(6億1294万円)で7園の民営化をすすめます。

財政局案で保留、市長査定後に予算化された主なもの

- ・中村区役所の改築調査 200万円
- ・名古屋城重要文化財等展示収蔵施設の設計 6400万円
- ・音楽あふれるまちづくりプロジェクト 3000万円
- ・大規模展示場の整備等に関する調査 2000万円
- ・富田工場の設備更新 5300万円
- ・生活困難者の自立支援 2億3900万円
- ・名鉄東大手のバリアフリー化補助 2700万円
- ・緑区休日急病診療所の改築補助 8200万円
- ・敬老パス等のICカード化のシステム改修 1億8500万円
- ・鉄道を利用した都市魅力向上策推進 2000万円
- ・救急隊増帯のための有松出張所の改修 700万円
- ・なごや子ども応援委員会の体制強化 1400万円
- ・学校生活アンケートの実施 4000万円
- ・教育間の移転改築 5億6000万円
- ・校舎等の大規模改造 11億5600万円
- ・高校特別支援学校の整備 300万円
- 追加：臨時福祉給付金 31億9800万円
- B型肝炎予防接種費用の助成 1億4600万円
- 子宮頸がん予防接種調査 700万円
- 子育て世帯臨時特例給付金 10億5300万円
- 愛知高速交通(株)(リニモ)への経営支援 2億3100万円

平成27年度一般会計予算案(単位:億円)

区分	2015年度	2014年度	差引増減	
歳入	市税	5,001	5,000	1
	うち 市民税減税額	△116	△118	2
	地方交付税	50	50	-
	使用料及び手数料	462	455	7
	国・県支出金	2,266	2,166	100
	市債	706	852	△146
	うち 臨時財政対策債	240	350	△110
	その他	2,237	2,051	186
	計	10,723	10,574	149
	歳出	人件費	1,675	1,662
扶助費		2,837	2,708	129
公債費		1,339	1,369	△30
投資的経費		862	893	△31
その他		4,010	3,942	68
計		10,723	10,574	149

要求運動で前進

国の保険者支援制度の拡充などで国保料が平均年額で約3千円下がり、法定減額が拡大。低所得者の介護保険料の軽減では保険料第1・第2段階の保険料を軽減、10万人(3億6500万円)。そのほか敬老パスの負担金据え置き、ICカード化のほかB型肝炎ワクチン助成、子宮頸がん接種調査、保育料の据え置きなど。

商店街魅力向上事業助成 7600万円
私立幼稚園授業料補助 34億400万円

市民意見は241件

昨年11月21日から12月22日まで予算編成の要求内容について意見募集が行われましたが、総数は241件(昨年は701件)でした。男性78件、女性156件、不明7件。FAX225件、電子メール16件でした。

- *臨時・政策経費46件、新規・拡充事業167件、その他28件
- *健康福祉局9件、子ども青少年局224件、教育委員会7件、その他1件
- *主なものは、留守家庭児童健全育成事業関連178件、保育関係42件 など

市政懇談会を行いました

2月13日に日本共産党名古屋市議団が定例の市政懇談会を開催しました。

田口かずと議員の司会で、わしの恵子団長の開会あいさつに続き、山口清明議員が新年度予算案について報告しました。報告後、会場からの質疑などが行われ、14人の方から様々なご意見ご要望が出されました。



請願締切は2月19日(木)です